鈴鹿工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	英語ⅡB

科目基礎情報

科目番号	0032	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	電子情報工学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	教科書：『LANDMARK English Communication Ⅱ』(予習ノート，Workbookを含む)（啓林館），参考書：『Breakthrough総合英語』（美誠社），『理工系学生のための必修英単語2600』（成美堂）		
担当教員	松尾 江津子		

到達目標

『英語ＩＡＢ』で学習した知識・技能を活用して、幅広い話題について読み、そして聞く能力を身につけ、異文化理解を通じて、コミュニケーションの手段として外国語の重要性を理解するようになる.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目１	英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用しながら，明瞭で聞き手に伝わるように，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，聞き手に伝わるように音読あるいは発話の応用ができる．かつまた中学で既習の語彙や文法や文構造の定着を図り，高等学校学習指導要領に準じた新出語彙や文法や文構造，及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して応用的に運用できる.	英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用しながら，明瞭で聞き手に伝わるように，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，聞き手に伝わるように音読あるいは発話できる．かつまた中学で既習の語彙や文法や文構造の定着を図り，高等学校学習指導要領に準じた新出語彙や文法や文構造，及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切に運用できる.	英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用しながら，明瞭で聞き手に伝わるように，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，聞き手に伝わるように音読あるいは発話できない．かつまた中学で既習の語彙や文法や文構造の定着を図り，高等学校学習指導要領に準じた新出語彙や文法や文構造，及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切に運用できない.
評価項目２	日常生活や身近な話題に関して，毎分100語以上の速度ではっきりとした発音で話されたものから必要な情報を聞きとり，その内容の把握を他に適用することができる．説明や物語などの文章を毎分100語以上の速度で聞き手に伝わるように応用的に音読できる．日本語と平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取り，その内容の把握を他に適用することができる．他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を応用的に記述できる.	日常生活や身近な話題に関して，毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話されたものから必要な情報を聞きとり，その内容を把握することができる．説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読できる．日本語と平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取り，その内容を把握することができる．他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる.	日常生活や身近な話題に関して，毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話されたものから必要な情報を聞きとり，その内容を把握することができない．説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読できない．日本語と平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取り，その内容を把握することができない．他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できない.
評価項目３	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明，解釈の適用ができる.	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明し，解釈できる.	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明も，解釈もできない.

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	『英語ＩＡＢ』で学習した知識・技能を活用して，幅広い話題について読んだり，聞いたりする能力を養うとともに，異文化に対する理解を深め，将来国際的に活躍できる技術者として、積極的にコミュニケーションの手段である外国語を活用しようとする態度を育てる.
授業の進め方・方法	・すべての内容は，学習・教育目標(A)＜視野＞ ＜意欲＞及び（C） ＜英語＞に対応する. ・「授業計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.
注意点	・<到達目標の評価方法と基準>「授業計画」の「到達目標」１～７を網羅した事項を定期試験、及び授業中に行われる小テスト等の結果、オンライン学習システムを利用した語彙テストや課題等で目標の達成度を評価する．１～７の重みは概ね均等である．４回の定期試験の結果を６割、授業中に行われる小テスト等の結果、課題等を４割とした総合評価において６割以上を取得した場合を目標の達成とする. ・<学業成績の評価方法および評価基準>求められる課題の提出をしていなければならない．４回の定期試験の平均点を６０%とし，小テスト及びその他課題の評価を４０%とし，その合計点で評価する．ただし，各定期試験で60点に達していない者には再試験を課す場合がある．再試結果が該当する成績を上回った場合には、60点を上限としてその試験の成績を再試験の成績で置き換えるものとする. ・<単位修得要件>学業成績で60点以上を取得すること．また定期的に実施される語彙確認テストにおいて，６割以上正解すること. ・<あらかじめ要求される基礎知識の範囲>英語ＩABで学習した英単語，熟語，英文法の知識. ・<レポート等>授業に関連した小テスト及び課題(レポート等)を課す. ・<備考>自己学習を前提とした規定の単位制に基づき授業を進め，課題等の提出，及び小テストを求めるので，日常的に英語に触れる習慣を身につけ，毎回の授業分の予習をした上で，積極的に授業参加すること．授業には必ず英和辞典（電子辞書可）を用意すること.

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標

前期	1stQ	1週	序論（授業の進め方，勉強の仕方，評価方法）	<英語運用能力> １．「授業内容」に示した教科書の英文の内容が理解できる. ２．英文の内容に関して簡単な質疑応答が英語でできる. ３．教科書の英文に使用されている英単語・熟語の意味を理解し，使用できる. ４．英文を内容が伝わる程度に朗読できる. ５．既習の英語表現を使用し，基本的な英文が作成できる. <文法に関する理解> ６．上記[授業の内容]にあげた文法事項を理解し，応用できる. <語彙力> ７．３０００語レベルの英語語彙の意味が理解できる.
		2週	Lesson 1 I'm the Strongest! (1)(2)	上記１～７ ①繰り返しを避けるための省略を理解し，使うことができる.
		3週	Lesson 1 I'm the Strongest! (3)(4)	上記１～７ ②過去完了進行形を理解し，使うことができる.
		4週	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle (1)(2)	上記１～７ ①強調のための倒置構文を理解し，使うことができる.
		5週	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle (3)(4)	上記１～７ ②形式目的語のitの構文を理解し，使うことができる.
		6週	Lesson 3 Saint Bernard Dogs (1)(2)	上記１～７ ①受動態の分詞構文を理解し，使うことができる.
		7週	Lesson 3 Saint Bernard Dogs (3)(4)	上記１～７ ②完了形の分詞構文を理解し，使うことができる.
		8週	中間試験	これまでに学習した内容を説明し，解を求めることができる.
	2ndQ	9週	中間試験の解答解説	上記１～７ 中間試験までの内容の総復習
		10週	Lesson 4 Chanel's Style (1)(2)	上記１～７ ①S＋V＋分詞／S＋V＋O＋分詞（第2・第5文型のCに分詞がくる）構文を理解し，使うことができる.
		11週	Lesson 4 Chanel's Style (3)(4)	上記１～７ ②付帯状況を表すwith＋O＋Cの分詞構文を理解し，使うことができる.
		12週	Lesson 5 Science of Love (1)(2)	上記１～７ ①同格のthat節を理解し，使うことができる.
		13週	Lesson 5 Science of Love (3)(4)	上記１～７ ②疑問詞＋do you think (＋S)＋V?の構文を理解し，使うことができる.
		14週	Reading 1 The Richard Flemings' Appointment	上記１～７ 既習の文型・文法を使った文章を読みこなし，その内容をとらえることができる.
		15週	Reading 1 The Richard Flemings' Appointment	上記１～７ 既習の文型・文法を使った文章を読みこなし，その内容をとらえることができる.
		16週		
後期	3rdQ	1週	前期末試験解答解説	上記１～７ 前期の総復習
		2週	Lesson 6 Gaudi and His Messenger (1)(2)	上記１～７ ①関係副詞の非制限用法を理解し，使うことができる.
		3週	Lesson 6 Gaudi and His Messenger (3)(4)	上記１～７ ②ifを用いない仮定法を理解し，使うことができる.
		4週	Lesson 7 Letters from a Battlefield (1)(2)	上記１～７ ①譲歩を表す複合関係詞を理解し、使うことができる。
		5週	Lesson 7 Letters from a Battlefield (3)(4)	上記１～７ ②動名詞の意味上の主語を理解し、使うことができる。
		6週	Lesson 7 Letters from a Battlefield (5) Exercises	上記１～７ 複合関係詞と動名詞の意味上の主語を理解し、使うことができる。
		7週	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society (1)(2)	上記１～７ ①注意すべき関係代名詞の非制限用法を理解し，使うことができる.
		8週	中間試験	これまでに学習した内容を説明し，解を求めることができる.
	4thQ	9週	中間試験の解答解説	上記１～７ 中間試験までの内容の総復習
		10週	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society (3)(4)	上記１～７ ②独立分詞構文を理解し，使うことができる.
		11週	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society (5) Exercises Reading 2 The Gift of Magi	上記１～７ 既習の文型・文法を使った文章を読みこなし，その内容をとらえることができる.

		12週	Reading 2 The Gift of Magi	上記１～７ 既習の文型・文法を使った文章を読みこなし，その内容をとらえることができる.
		13週	Lesson 9 AI and Our Future (1)(2)	上記１～７ ①As if [though] ＋仮定法を含む英文を理解し，使うことができる.
		14週	Lesson 9 AI and Our Future (3)(4)	上記１～７ ②助動詞＋have＋過去分詞を含む英文を理解し，使うことができる.
		15週	Lesson 9 AI and Our Future (5) Exercises	上記１～７ 仮定法と助動詞＋完了を含む英文を理解し，使うことができる.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	2	

評価割合

	定期試験	課題，小テスト	合計
総合評価割合	60	40	100
配点	60	40	100